

フィッシング対策協議会

月次報告書（2006年9月分）

フィッシング情報届出状況

2006年10月20日

目次

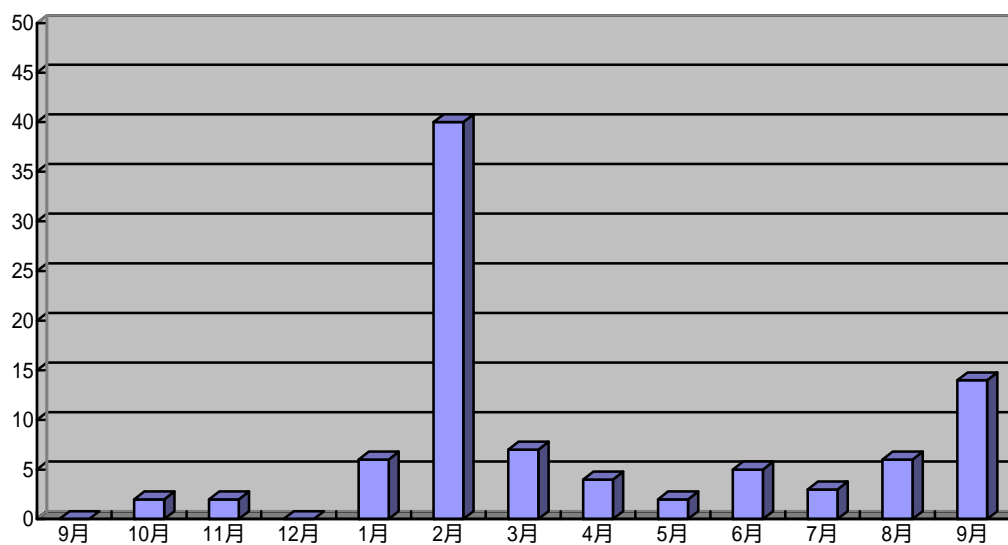
1.	フィッシング情報届出状況	2
1.2.	業種別の状況	5
1.3.	フィッシングサイトのホスト国	6
1.4.	フィッシングメールの動向	6
1.5.	フィッシングサイトの動向	6
1.6.	フィッシング関連の不正プログラム情報	7
1.7.	その他の動向	7
1.8.	総括	7

1. フィッシング情報届出状況

1.1. フィッシング情報届出状況

- ・ フィッシング情報の届出件数： 14 件

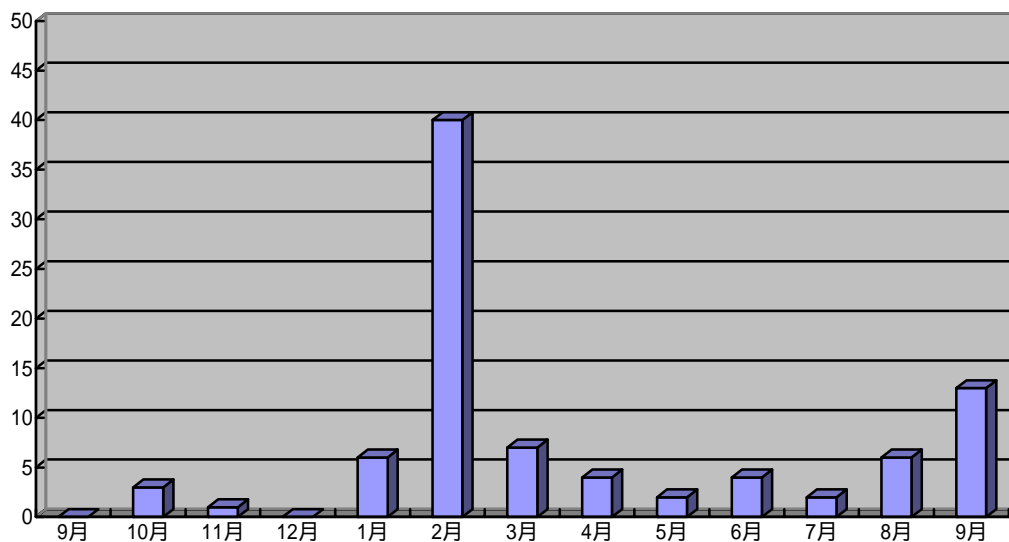
2006年9月度に報告されたフィッシング情報は14件で、2月度に次いで多い報告数となりました。



フィッシング情報の届出件数(2005年9月～2006年9月)

・ **フィッシングメールの件数**： 13 件

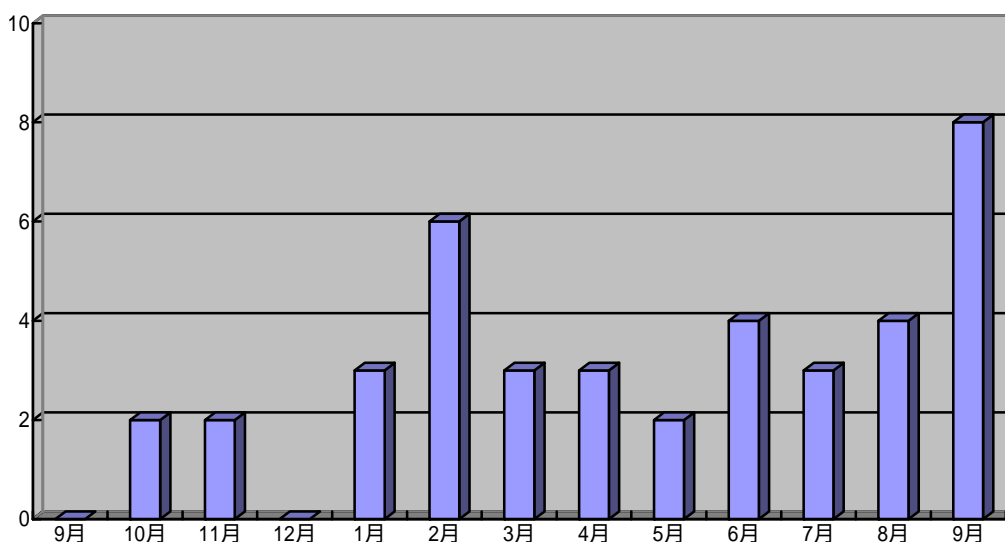
2006 年 9 月度に報告されたフィッシングメールは 13 件で、2 月度に次いで多い件数となりました。



フィッシングメールの件数(2005年9月～2006年9月)

・ **フィッシングサイトの件数**： 8 件

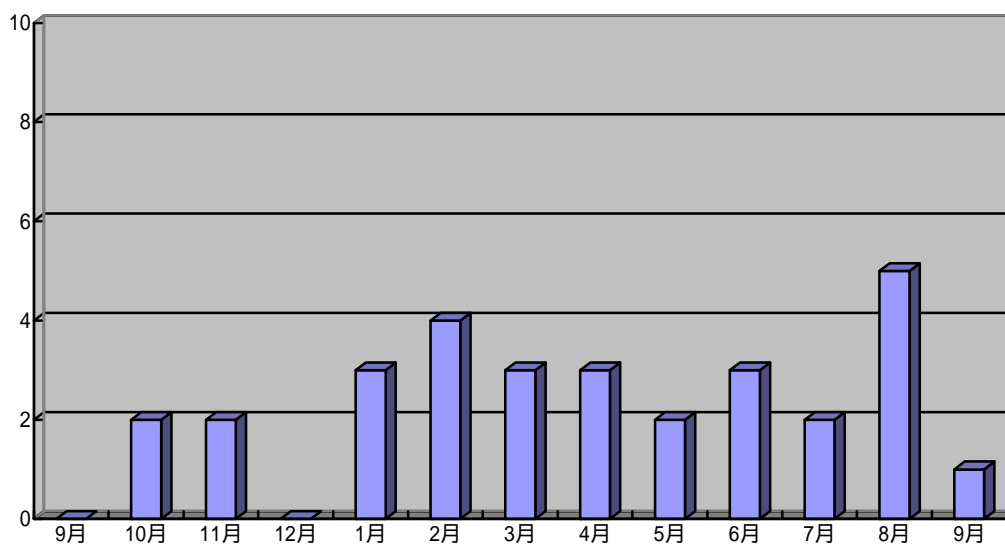
2006 年 9 月度に報告されたフィッシングサイトの数は 8 件で、過去最も多い件数となりました。



フィッシングサイトの件数(2005年9月～2006年9月)

- ・ **フィッシングによりブランド名を悪用された企業の件数**： 1件

2006年9月度にブランド名を悪用された企業の件数は1件で、「Yahoo! Japan」が標的となりました。

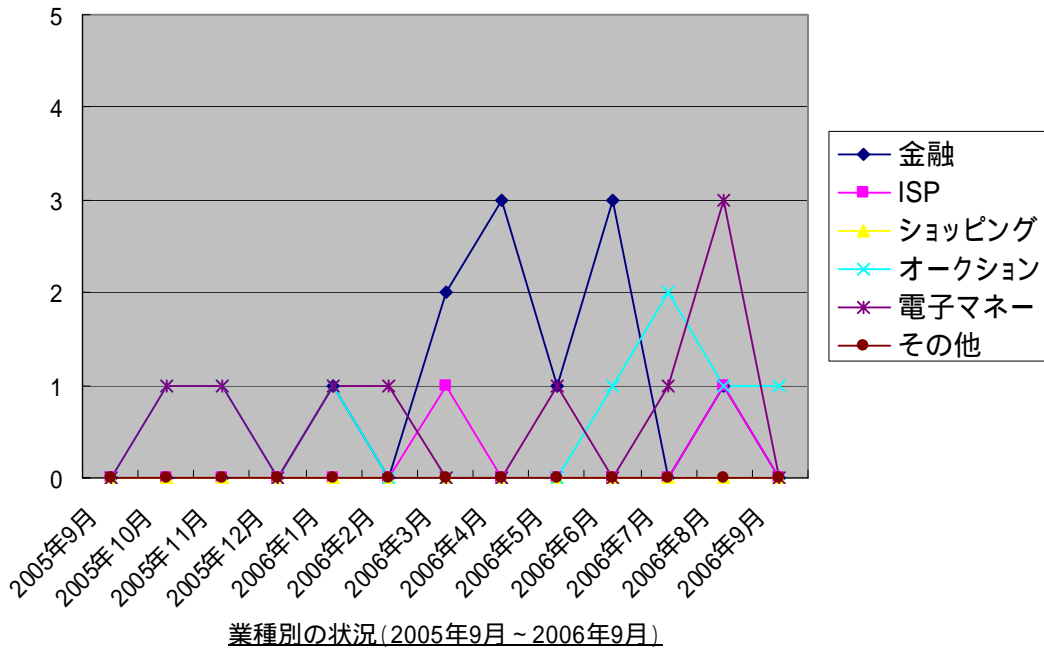


フィッシングによりブランド名を悪用された企業の件数(2005年9月～2006年9月)

- ・ **もっともフィッシングに利用されるWEBサイトが多かった国**： 日本(8件)

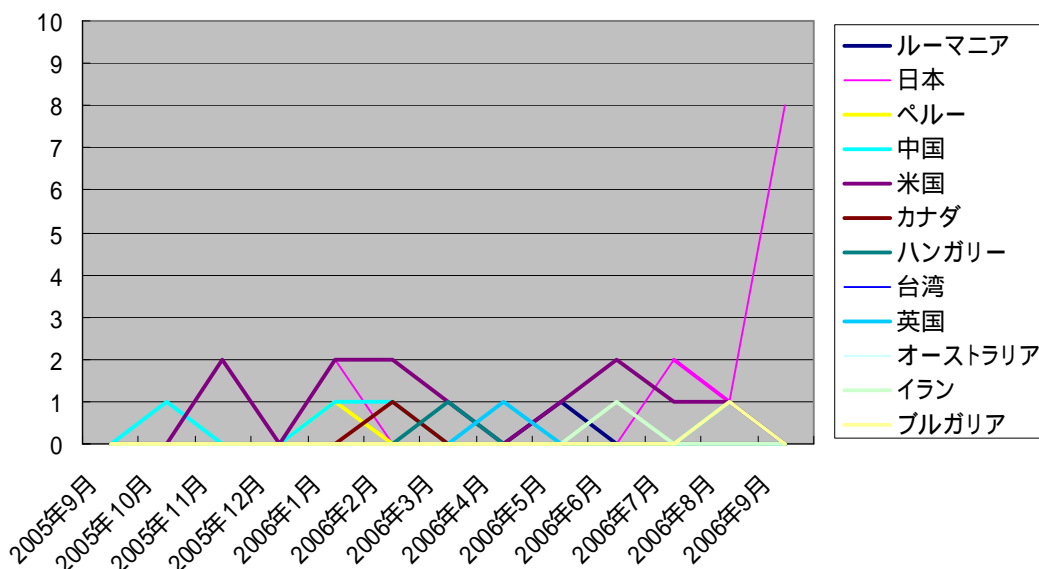
1.2. 業種別の状況

2006年9月度に標的となった業種は、オークションサイトの1件でした。



1.3. フィッシングサイトのホスト国

2006年9月度に報告された8件のフィッシングサイトは、すべて日本でホスティングされていました。



フィッシングサイトのホスト国(2005年9月～2006年9月)

1.4. フィッシングメールの動向

9月度に報告されたフィッシングメールは、計13件ですべて「Yahoo! Japan」をかたる日本語のものでした。メールの題名は「Yahoo! JAPAN - ユーザーアカウント継続手続き」となっており、本文は「Yahoo!オークションを継続して利用するには Yahoo! JAPAN ID ユーザーアカウント更新手続きが必要」という内容のもので、誘導先のサイトの URL だけが異なっていました。すべて Yahoo!メールのアカウント宛に送信されており、多くが週末(土、日曜)に送信されていました。

1.5. フィッシングサイトの動向

今回報告されたフィッシングサイトは、すべて「Yahoo! JAPAN」をかたる日本語のものでした。同一とみられる個人情報詐取画面では、Yahoo! JAPAN ID とパスワード、クレジットカード番号、氏名、性別、生年月日などを入力させるフォームが用意されていました。サイトはすべて日本のレンタルサーバ上でホスティングされていました。どのサイトも紛らわしい URL の使用は認めら

れず、一目で怪しいと分かるものが使われていました。

1.6. フィッシング関連の不正プログラム情報

特にありません。

1.7. その他の動向

特にありません。

1.8. 総括

9 月度には、今年の 2 月度に次いで多い 14 件の報告があり、内容はすべて「Yahoo! Japan」をかたる日本語のフィッシングメール・サイトでした。これらは、7 月度 8 月度に報告のあったものと同じタイプですが、ここにきて急に増加しました。これらのメール・サイトには毎回同じようなフォーマットが使用されているため、同一犯がサイト閉鎖のたびに新しいサイトに移り犯行を繰り返している、もしくはフィッシング詐欺サイト構築キットが市場に出回っていることが予想されます。

世界的に見てもフィッシングは依然増加傾向にあり、2006 年上半期に世界で送信されたフィッシングメールが 2005 年下半期と比べて 81% 増加したとの報告もありました。今後も、日本語のものも含めて増加していくことが予想されますので、協議会としてもよりいっそう注意喚起に力を入れていく必要があると考えます。